

高等学校長殿

横浜地区高等学校体育連盟会長

小坂 茂夫

横浜地区高等学校体育連盟テニス専門部委員長

宮崎 聡

公印省略

## 令和2年度 第40回横浜地区高等学校テニストーナメント大会要項

- 1 主催 横浜地区高等学校体育連盟テニス専門部
- 2 大会役員 大会会長 小坂 茂夫  
大会委員長 宮崎 聡  
レフェリー 高橋 朋之  
競技委員  
早乙女大道 熊谷友寿 木下直也 小野宏文 野渡智博  
林良輔 溝口陽香 久保裕紀 長谷川直紀 山田靖彦  
肥田真由美 倉田貴弘 大西優 渡辺英夫 金森志保  
横井達生 坂本静香 石村実 高橋力 小西一真 勝又晃  
武田千裕 綿貫圭一 深田峻史 西村拓哉 八下田和生
- 3 大会委員 各参加校テニス部顧問
- 4 大会顧問 各参加校校長
- 5 期 日 女子予選：3月27日(土) 男子予選3月28日(日)  
男女決勝：3月29日(月)  
[予備日：3月30日(火)、3月31日(水)]  
詳細は後日郵送する別紙を参照のこと。万一3月19日までに学校宛に郵送されなかった場合は、至急大会事務局に問い合わせること。また、新型コロナウイルスの感染状況や国および県の指導により、急遽中止とする可能性があります。
- 6 時 間 午前9時試合開始
- 7 会 場 学校コート（全会場ハードコートまたは人工芝の予定）
- 8 種 目 男子・女子団体戦 ダブルス2・シングルス3計5ポイント  
（ダブルス・シングルスに重複して出場してはいけない。）
- 9 資 格 神奈川県高等学校体育連盟加盟校または高体連が参加を認めた学校・生徒で、県高体連テニス専門部に登録済みの生徒であること。ただし、大会時に卒業している生徒は除く。
- 10 出 場 数 男女各1チーム（1チーム5名以上のメンバーが必要）。  
ただし、1校で5名に満たないチームについて、合同チームによる参加を認める。 ※詳細は別紙のとおり
- 11 試合方法 ダブルス1・2、シングルス1・2・3の順に行う。  
各試合1セットマッチ(ノーアドバンテージ方式、6-6の場合7ポイント・タイブレーク)。初戦のみ5試合。以降は勝敗が決した段階で打ち切る。
- 12 シ ー ド 8シード（例年と同様）  
・第1シード＝令和元年度優勝校  
・第2シード＝令和元年度準優勝校  
・第3シード以下  
（第3・第4シード、第5～第8シードの位置は抽選で決定）  
令和元年度1部リーグ1位～4位（順位順）  
令和元年度2部リーグ以下のリーグ優勝校（リーグ順）
- 13 試 合 球 公認球5缶を持参 ※詳細は別紙のとおり

- 14 **健康チェック** 試合当日の届出時、参加校状況報告書(別紙)を提出  
顧問は選手から当日の朝、健康状態チェックシート及び参加確認書を回収
- 15 **参加料** **無料** ※本年度の横浜地区テニスリーグ大会(無料大会)が不開催となったため
- 16 **申込方法** 申込用紙に必要事項を記入し、公印押印のうえ下記の要領で郵送又は逡送する。  
①期限 **2月26日(金) 必着**  
②送付先 **県立柏陽高等学校** テニス部顧問 野渡 宛  
(〒247-0004 横浜市栄区柏陽 1-1)
- 17 **抽選方法** 横浜地区高体連テニス専門部による責任抽選
- 18 **表彰** 優勝・準優勝・第3位には賞状を贈る。
- 19 **事務局** 野渡智博(柏陽高等学校) 電話 045-892-8493
- 20 **注意事項**

(1) **感染拡大防止のため、会場に入れるのは顧問・コーチと選手9名までとする。**  
応援の選手や保護者等は会場に入ることにはできない(県大会に準ずる)。

(2) 出場チームは、試合開始時間の30分前に集合し、プレーできる服装になって出席を届けること。その際、**参加校状況報告書を提出すること。**  
なお、届出のないチームは自動的に失格とする。

(3) 選手は呼び出しの聞こえる場所にいること。呼び出しに応じない場合には、失格とする。

(4) **試合方法**

ア) ダブルス2・シングルス3、計5ポイントを争う。

イ) 各試合1セットマッチ(ノーアドバンテージ方式)とする。ただし6-6からは7ポイント・タイブレーク決戦方式で勝敗を決する。

ウ) ダブルス1・2、シングルス1・2・3の順で試合に入る。初戦は勝敗に拘わらず5ポイント最後まで行うが、以後は勝敗の決した段階で試合を打ち切る。

エ) メンバーが5人の場合にはシングルス2・3、6人の場合にはシングルス3を棄権させること。

オ) 4人以下の場合は失格となる。メンバーが7人に満たない場合は、あらかじめコートレフェリーにその旨連絡すること。

カ) 試合前に必ずオーダー表を作成し、挨拶を交わすときに対戦校とオーダーを交換する。

キ) メンバー作成に当たって、ダブルス・シングルスともオーダーは自由に組んでよい。ただし、ダブルス・シングルスに重複して出場してはいけない。また、オーダー交換時に会場にいない選手は、その試合に出場することはできない。

(5) **試合に関して**

ア) 試合前のウォームアップは、トスによりサーバーとコートを決めた後、サービスを各サイド2本ずつ計4本のみとする。

イ) ファーストサービスの際、セカンドサービス用のボールを必ず身体に保持して行うこと。

ウ) 試合はセルフジャッジで行う。また、各試合後、勝者は直ちに結果をコートレフェリーに報告すること。

エ) 各試合について、各チーム1名ずつのベンチコーチを認める。ただし合同チームの場合はそれぞれの学校のベンチコーチがコートに入っても良い。コーチングは第1ゲーム終了後、およびタイブレーク時のチェンジコートには行うことはできない。

オ) 不測の事故(捻挫など)により、1度治療をしてもなお試合を継続できない場合には、棄権すること。

(5) その他、コートレフェリーの指示に従うこと。